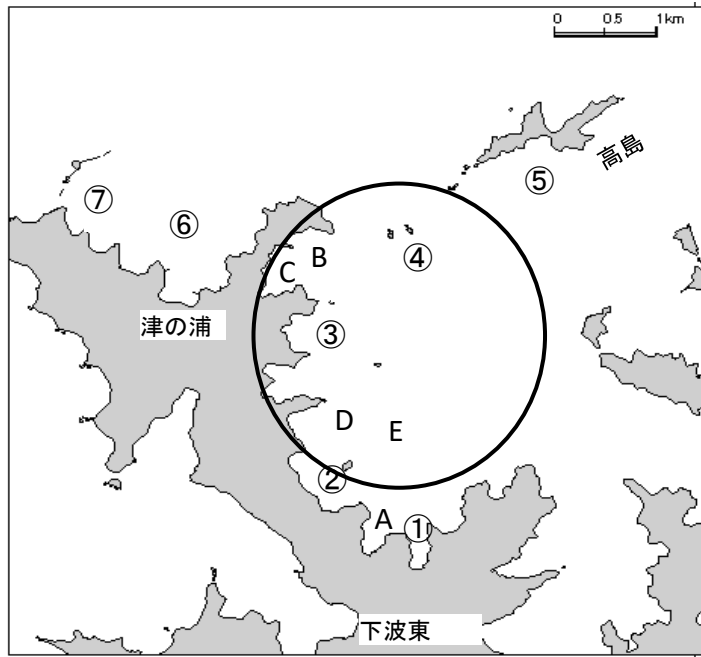


赤潮診断カード

調 年 月 日	令和8年6月24日	7:30～	着色域あり			
調査者	遊子支所・水産研究センター					
出現状況	発生年月日	場所	発生範囲			
		遊子支所管内	下記の通り			
被害状況	-	プランクトン検査のため持込み				
種類 ／ 地点番号 採水層	①	②	③	④	⑤	⑥
	5.0m	5.0m	0.0m	0.5m	0.5m	3.0m
カレニア・ミキモトイ	130	180	3,600	2,090	390	280
種類 ／ 地点番号 採水層	⑦	A	B	C	D	E
	5.0m	0.5m	1.0m	1.5m	0.0m	0.0m
カレニア・ミキモトイ	20	1,280	1,620	1,430	51,000	315,000
指導状況	危険濃度を上回る最大315,000cells/mlのカレニア・ミキモトイが確認されました。また、地点によっては、カレニア・ミキモトイのきわめて高濃度の表層への集積が見られています。海色の変化に注意するとともに、餌止めを行うなど魚介類の管理には細心の注意を払うようお願いします。 また、挿核、養生作業中に、アコヤガイが高濃度のカレニア・ミキモトイ赤潮に曝露されると、珠の品質が低下するのでご注意ください。 【危険濃度】 カレニア・ミキモトイ(赤潮原因種) 1,000cells/mL					



○
着色域